

## 標準予防策と経路別予防策

すっかり寒くなりました。今年もあと1か月。今年1年はどんな年でしたか？感染に関することといえば、10月は複数のコロナによるクラスターが発生し大変でした。職員の皆様の協力のもと、短期間で終息できたと思います。来年はクラスターが発生しないことを祈りつつ、感染対策の基本について今一度周知したいと思います。

### 標準予防策の概要



### 標準予防策とは

全ての患者の血液、汗を除く体液、分泌物、排泄物、健康でない皮膚、粘膜は、感染性があるものとして対応すること  
目的は：病原体の感染・伝播リスクを減少させる

標準予防策で重要とされていることが「手指衛生」。さらに、「個人防護具」です。コロナがパンデミックになってから、世間一般でも「標準予防策」という言葉が知られるようになったと思います。知っているだけでなく、一人一人がしっかり実践できているかが大切です。

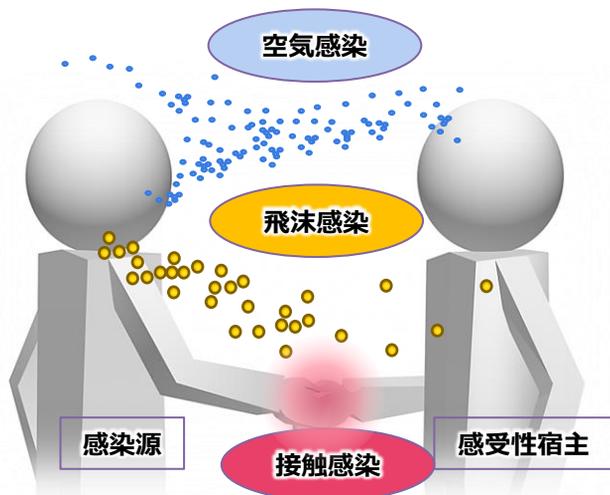


### 手指衛生の必要な5つのタイミング



- 患者に触れる前  
手指を介して伝播する病原体から患者を守る
- 清潔/無菌操作の前  
患者の体内に病原体が侵入することを防ぐ
- 体液曝露の後  
患者のもつ病原体から自分自身と医療環境を守る
- 患者に触れた後  
患者のもつ病原体から自分自身と医療環境を守る
- 患者周辺の物品に触れた後  
患者のもつ病原体から自分自身と医療環境を守る

### 経路別予防策のイメージ



### 経路別予防策とは

感染症種類判明により、適切な予防対策を整えること

- 空気感染は、**直径5 $\mu$ m未満の飛沫核が、長時間空中を浮遊することにより伝播し、感染するので院内の空気の流れを考慮した対策が必要。**
- 飛沫感染は、**直径5 $\mu$ m以上の飛沫が、短時間空中を浮遊することにより伝播し、感染するので患者からの飛沫による感染を防ぐため、患者の1m以内でケアするときにはサージカルマスクをつける。**  
また、患者が検査などでやむをえず室外に出るときは、患者にサージカルマスクをつけてもらう。
- 接触感染は、**直接またはヒトやモノを介して伝播し汚染された患者周囲物質との接触や診療、清掃などで感染するので、感染の拡大を予防するため、手袋やガウンを着用する。**

# 経路別予防策の疾患と个人防护用具について

血液や体液、分泌物、排泄物、粘膜、健常ではない皮膚に接触する際に、状況に応じて个人防护用具を選択して使用する。医療従事者を微生物や有害物質の曝露から守り、微生物や有害物質の拡散を防ぐ

下線の部分が重要。どの場面でのPPEを選択できるか。PPEは付けばよいというものではありません！

種類	主な感染症	陰圧空調	個室	手袋	ガウン・エプロン	マスク	ゴーグル・フェイスシールド
空気感染	麻疹、水痘、肺結核	●	●	-	-	N95マスク	
飛沫感染	新型コロナウイルス感染症、百日咳、インフルエンザ、マイコプラズマ、アデノウイルス、風疹、流行性耳下腺炎など	-	●	-	-	サージカルマスク (N95)	▲
接触感染	新型コロナウイルス感染症、多剤耐性菌感染症、腸管感染症（クロストリジウム・ディフィシル感染症、腸管出血性大腸菌感染症、アデノウイルス、など	-	●	●	●	●	▲

## インフルエンザ発生状況

12/2~8のインフルエンザ発生数

全国・北海道で増加傾向。

全国：44673人  
北海道：1783人

札幌814人

釧路52人

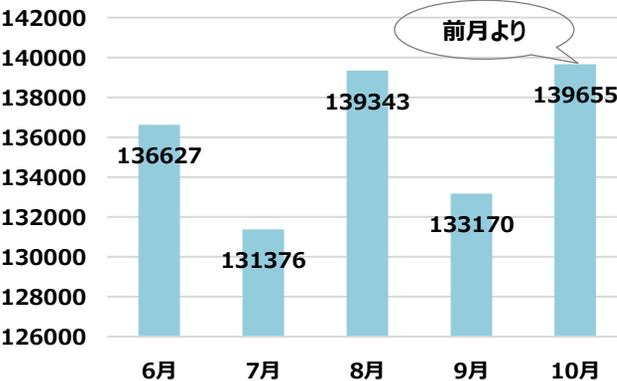
帯広33人

釧路では学級閉鎖も発生しています。全国・北海道・札幌では急増中

## 新型コロナウイルスの最近の話題

新型コロナウイルスが2020年にパンデミックになって、そろそろ5年が経過しますが、定期的な流行を繰り返しながら変異株が登場しています。今はオミクロン株の派生の株が主流ですが、2024~25年の流行しそうな変異株が「XEC」と言われています。世界各国でも、この変異株が主流になりつつあり、東京でも増加傾向だそうです。さらに、この変異株の特徴はウイルスの伝播力が高いうえに、一度感染した人が再感染しやすいように変異しているとの情報があります。これからの季節は寒くなり雪が降ります。北海道は換気しにくい季節の突入です。個人がしっかり感染予防を実践していくことが求められます。

## 2024年度 手指消毒薬使用量

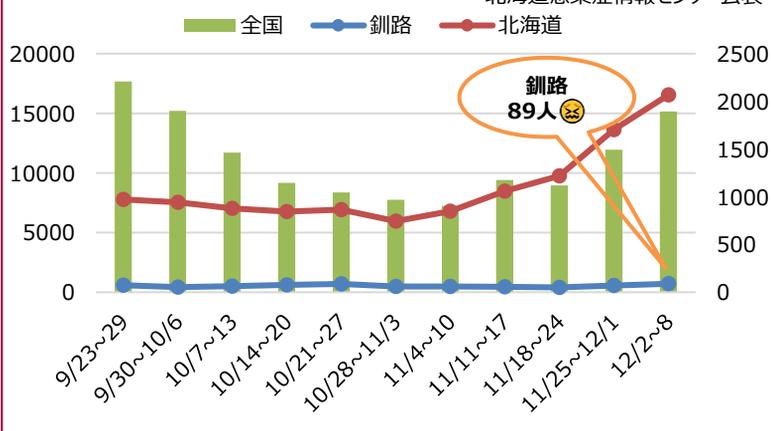


インフルエンザやコロナウイルス感染症が増加傾向です。しっかり手指消毒しましょう！

全国

## COVID-19陽性者報告数

北海道感染症情報センター公表



## 新型コロナウイルス感染症対策のお願い

発熱などの有症状時は直接受診することは控え、病院へ連絡してから来院して下さい。当院への受診の際は必ず、マスク着用をお願いします。また、受診時の付き添いの方は1名までとさせていただきます。陽性の方は症状悪化した場合等は診断を受けた医療機関へご相談下さい。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

## 院長先生からのメッセージ



何事も基本に忠実に。継続は力なりです。この冬を乗り越えていきましょう。